

会議顛末書（要旨）

				記録者		三石 隆太郎			
供覧	会長	部長	次長	課長	補佐	G L	G 員		
件 名	令和6年度 第3回龍ヶ崎市地域公共交通協議会								
年 月 日	令和6年6月25日（火）								
時 間	午前10時00分から午前11時45分								
場 所	龍ヶ崎市役所 5階 全員協議会室								
出席者	<p>【出席】17人 小菅（達）委員、鹿内委員（代理：長谷川氏）、井上委員（代理：大山氏）、高草木委員、池田委員、北村委員（代理：砂長氏）、廣瀬委員（代理：真中委員）、中島委員、野澤委員、小菅（信）委員、板谷委員、上野委員、磯貝委員、福田委員、落合委員、佐藤委員、赤津委員</p> <p>【事務局】 萩原市長 都市整備部 橘原次長、 都市計画課 仲村課長、櫻井副主幹、小山係長、仲村主幹、蛭原主幹、記録者</p> <p>【傍聴】1人</p>								
会議内容 【会議次第】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 議題 4. その他 5. 閉会 								
内 容 (主な意見)	<p>※ 別添資料に基づき本協議会を開催した。</p> <p>【事務局】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 <ul style="list-style-type: none"> ○市長挨拶。 ○会議資料等の確認。 ○委員紹介。 2. 委嘱状の交付 <ul style="list-style-type: none"> ○委嘱状交付（磯貝氏が代表で委嘱状を受領） ○定数の過半数出席により、本会議が成立した旨を報告。 								

(龍ヶ崎市地域公共交通協議会条例第6条第2項)

○本日の議事録署名人は、公募市民の福田委員と茨城県竜ヶ崎警察署の高草木委員を指名。

2. 議事

(1) 会長・副会長の選任について

【事務局】

委員の改選により、会長・副会長を選出する必要があることから、委員の皆様協議をお願いするものです。

会長・副会長の選出について、どなたかご意見等ございましたらお願いします。

【野澤委員】

事務局案はございますでしょうか。

【事務局】

会長につきましては、長年に渡り当協議会の会長を務めていただいております、流通経済大学の板谷委員に引き続きお願いしたいと考えております。

また、副会長につきましても、引き続き龍ヶ崎商工会事務局長である佐藤委員をお願いしたいと考えております。

～異議なしの声～

【事務局】

異議なしとの声多数と認め、会長につきましては、板谷委員、副会長については、佐藤委員を選任することで決定させていただきます。

それでは、会議の進行につきましては、板谷会長をお願いいたします。

～萩原市長 退席～

【板谷会長】

会議次第に従い議事の進行をまいりますので、よろしく申し上げます。

それでは議題(2)『龍ヶ崎市地域公共交通計画の一部見直しについて』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明(別紙1 龍ヶ崎市地域公共交通計画の一部見直しについて)(別紙2 龍ヶ崎市地域公共交通計画(抜粋))

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただき

たいと思います。

【上野委員】

先ほどの説明で運行経費、運賃収入を修正したという説明がありましたが、どういった経緯があったのでしょうか。

【事務局】

コミュニティバス循環ルートにおいて、令和3年10月から交通系ICカードでの支払いを開始しましたが、本市に報告をいただいております実績の項目の中に、交通系ICカードの運賃分が含まれていなかったということが判明いたしましたので、その分を反映させていただいた形に修正しております。

【板谷会長】

地域公共交通計画の37ページの修正に関して、イメージ図を見直すというのはあまりありませんが、今回は非常に大きな再編がありますので、変更について理解はいたしますが、今後イメージ図を記載する場合は、今回のような変更にも対応できるようにした方がよいのではないかと思います。

【小菅（達）委員】

同じく37ページについてですが、今回の変更によって具体的にどのような効果が得られるのかについて、事務局の考えをお伺いしたいと思います。

【事務局】

今回イメージ図を変更したのは、市東部地域を運行しておりますコミュニティバス枝線をAIオンデマンド交通に切り替えていくという理由でございます。市地域公共交通計画の指標でもあります利用者1人1回当たりの市負担額や利用者数を考えた時に、イメージ図を変えることで、より多くの方に認識いただき、より多くの方にご利用いただけるのではないかと考えているところでございます。

【小菅（達）委員】

利用者が増えるという事は、収支についても改善するという所までの推計は取っていらっしゃるのでしょうか。

【事務局】

一昨年から公共交通の見直しを始めた中で、利用人数に対して運行経費が掛かりすぎているという本市の課題が浮かび上がっていたところでございます。

その中で『龍ヶ崎市地域公共交通計画』の改訂をさせていただいて、見直しを始めてきたところでございます。

具体的な数字は申し上げにくいのですが、この度の再編によって、

収支の改善は見込んでおります。一方で利便性が下がってはいけないということで、利用者の少ない市東部地域においては、A I オンデマンド交通でカバーしていこうと本協議会で協議をさせていただき、前回承認いただいたところです。

今回の37ページの修正につきましては、本協議会で承認いただきました内容に合わせて更新をしていくイメージでございます。

【板谷会長】

今回、計画策定の段階でコミュニティバス再編については、十分議論がなされていなかったため、今回必要な修正をしていくことです。今後の評価等につきましては、引き続き本協議会で情報共有していければと考えております。

【磯貝委員】

先ほどご説明された市東部地域のA I オンデマンド交通の実施等については、本協議会で決定されるという理解でよろしいですか。

【事務局】

本市で運行しておりますコミュニティバス、乗合タクシー、また来年度本格運行を予定しておりますA I オンデマンド交通に関しましては、本協議会の場で協議していただきまして、承認いただく形になっております。

先ほどご説明させていただきました『龍ヶ崎市地域公共交通計画』に関しましても同様で、今回変更する内容としましては、前回の協議会でコミュニティバスの再編内容やA I オンデマンド交通の運行に関しまして承認いただいておりますので、その内容を踏まえて本計画の方に反映をさせていただく形で協議をいただいているところでございます。

【板谷会長】

市内の公共交通のネットワークのあり方について議論、意思決定し、実際にバスの走り方等も変わるということが実現する内容でございます。

今回の再編については、これまでも議論しておりまして、今後また継続して議論していくことになると思いますので、ご意見を頂戴できればと思います。

その他ご意見ないようでしたら、資料のとおり承認してよろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

それでは資料のとおり承認といたします。

続きまして議題（3）『龍ヶ崎市地域公共交通計画の事業評価につ

いて』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明（別紙3 龍ヶ崎市地域公共交通計画における計画目標の達成状況）（別紙4 龍ヶ崎市地域公共交通計画に位置付けた事業の実施状況）

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただきたいと思えます。

【上野委員】

資料3-9について、バス情報のオープンデータ化とMa a Sのご説明がありましたが、具体的にどういうことを考えているかというのと、またどのような効果が期待できるかを教えていただきたいと思えます。

【事務局】

はじめにMa a Sについてですが、『龍ヶ崎市地域公共交通計画』66ページに記載がありますのでご覧ください。

よく言われるイメージとしましては、複数の交通に跨って予約から決済までを一括して行うことができるようなものを目指して様々な取り組みを行っていく、というものになります。例えば、資料の中にもあるように、AIオマンド交通やシェアサイクルといった新しい公共交通や、一括した予約・決済の前提として、バスの運行ダイヤ等を統一した規格で作成・公開するGTF S化等、様々な事業が紐づいています。

計画に記載のある龍ヶ崎Ma a S推進協議会のこれまでの取り組みとしましては、一体とした予約・決済は達成しておりませんが、関東鉄道株式会社を中心に、インターネットで1日乗車券の販売をしたり、貨客混載事業の実証実験を関東鉄道龍ヶ崎線とコミュニティバスで連携して取り組んだりといった取り組みを行っているところです。

【上野委員】

利用者目線で言えば、利用する時にバスがいつ来て、いつバス停に行けば乗れるのかという情報が一番知りたい情報だと思います。

例えば、ご説明されているようなことをベースにして、目的地に行くためには、バス停に何分に行けば乗れるというのを情報として得られると利用しやすいと思うのですが、そういったことも含まれるのでしょうか。

【事務局】

概念としましては、全てMa a Sに含まれておりますが、それを達成するには、運行ダイヤが誰からも見える状態になっている必要があ

ります。加えて、バスは当然遅れる可能性もございますので、現在の運行情報も見えるようになっている必要があります。

それらが同ページの1つ上の欄に記載のあるGTF S-J PとGTF Sリアルタイムとなります。GTF S-J Pというのが、ダイヤを日本語に合わせた統一した規格で作成・公開するというものです。

GTF Sリアルタイムというのが、GTF S-J Pの情報に加えて、市で導入しているコミュニティバスのバスロケーションシステムの情報についても統一した規格で公開することで、自由に情報が取得できるようにしよう、という取組になります。

こちらを作成・公開しますと、例えばバスの運行情報を載せているHPなどがあると思いますが、それらの情報を自由に取得して、まとめて一つのHPに運行情報を掲載したりすることができるようになります。一方で、上野委員がおっしゃっている内容を実現するには、1つ1つステップを踏んでいく必要がございます。市の取り組み状況としては、コミュニティバスにバスロケーションシステムは導入済みですが、そのGTF S化は対応できておりませんので、これから少しずつ進めていく、というイメージでございます。

【板谷会長】

イメージで言いますと、例えばスマートフォンの地図機能の中にバス停が出てきて、そこをタップすると、時刻表とそのバスの目的地と次に来るまであと何分等の情報が全部わかるという状態が本来あるべき姿ですが、日本ではまだできていない地域の方が多い状況です。

一方海外では相当進んでおりまして、Ma a Sはそもそもヨーロッパから始まっているのですが、実はアジアの各国でも整備が進んでおります。

韓国では、ソウルのバスは全てこうした状況が整っているため、わかりやすく便利ですので、公共交通を使いたい人が増えるわけです。またスマートフォンでの決済も可能で、全部自分が持っている機材一つで解決できるようになります。これがMa a Sが実現しているということです。

こうした状況が整っている状態が目指すべき場所ですが、コストが非常にかかるというのがありまして、本来地方自治体レベルでやるものではなくて、国家プロジェクトで進めていくべきではないかと私は思っているところです。

その中でも龍ヶ崎市でできることがあるのではないかとということで、研究を進めながら、少しでも利便性の高い公共交通を実現できるようにしていこうというのが龍ヶ崎Ma a S協議会の主旨でございます。

【池田委員】

コミュニティバスの運賃についてですが、今回の再編で値下げをしたいというお考えだと思いますが、値下げをすることによって、また市の補償額が増えてしまうのではないかと思います。また別紙4にも

「運賃収入の伸び悩み」と記載があります。そのような中で、今回の再編で運賃を値下げすることに懸念を示します。民間事業者との共存共栄ともありますが、一般的には値上げという傾向がありますので、運賃の部分で言えば共存共栄になるのか疑問です。

【事務局】

運賃のご質問に関しましては、これまでも関東鉄道様からご意見をいただいております。令和7年4月の再編案につきましては、路線バスと重複しているコミュニティバス路線の一部変更ということでご理解をいただけてきたところでございます。

これまで、通常運賃200円としながら充実した割引制度がございまして、主にコミュニティバスの利用者の方が高齢者ということもあり、そういった割引制度を使う方が多くいらっしゃいました。

実際のところ、利用者の方々全員が200円を使った場合と運賃収入を比較しますと、5割程度にまで実収入が減少してしまっているというところがございます。

そうしたところを踏まえまして、運賃の割引制度につきましては、一旦令和7年4月の再編に合わせて整理をさせていただくというところがございます。

基本運賃を100円にするという点だけを見れば半額になりますが、割引制度の整理というところを考慮しますと、大幅な減収にはならないのではないかと考えております。

また100円という料金については、使いやすい料金という認識も皆様お持ちかというところもございますので、今回の再編によって、これまで利用を控えられていた方等にも利用していただき、利用者の増加に結び付けていきたいと考えております。

【小菅（達）委員】

現状運賃に関しましては、全国的にバス、トラック、タクシー等も含めて値上げをしているという現状だということをお話させていただきます。

一昨日の新聞でも、バス会社が1回運賃を上げて、またさらに運賃を上げるような取り組みを行っているところがあって、全国的にバス運賃については値上げという方向に向かっているというのが現状でございます。

今回、値下げをしたいということに関しましては、色々な諸事情があると思うので否定するものではございませんが、全国的にバス運賃は値上げの傾向にございますので、また見直しということであれば、そういった観点も踏まえていただいた上で対応いただければと思っております。

【事務局】

昨年度から運賃についてお話をさせていただいた中で、同様の意見をいただいたところでございます。その中で、ご説明したように割引

の幅が大きかったため、今回整理させていただいて、単価を下げるという中で事務局案として100円と提示させていただきました。

地域を支えるための手段として財源も確保しなければならない、一方で持続可能な公共交通を確保していくためには、経費も削減していかないといけないというような中で、今回運賃の設定をさせていただいたところでございます。

まずは本協議会におきましても、委員の皆様のご協力をいただきご承認いただきました令和7年4月の再編に向けて取り組ませていただき、その次期の間に見直し等々についてはしていかねばならないと考えているところでございます。

【磯貝委員】

高齢者は交通弱者が多いと思うので、今回の100円という運賃については、大変喜ばれると思います。往復だと400円が200円になるとするのは、すごく大きいことだと思うので、大変ありがたいことだと考えております。

【板谷会長】

利用者目線ということだと、やはり100円というのは大変ありがたいと思います。

一方で、全国的な値上げの風潮の中で100円という運賃設定は大丈夫なのかというのは、今までの協議会の中で申し上げてきたところでございます。

市民のために市としても頑張るということですので、運行してどのような影響が出てくるのかは、実際に運行してみないとわからない点もございまして、継続して効果検証し、問題がありましたら改善していくことでよろしいのではないかと考えております。

事業評価ということで、何点か意見を言わせていただきますと、数値目標につきましては若干高いのではないかと考えております。

例えば別紙3【①-1】利用者数については、コロナ禍における実績を現状として出した上で、そこから2割以上増やしていくというような目標でやっています。実績として目標値に届いておりませんが、十分利用いただいていると評価をしております。

1日あたりにすると約3,000人となり、市の人口と比較してみると、もう少し活性化策と言いますか、より多くの方にご利用いただくようなことを検討していいのではないかと感じるところでございます。

一方で、交通に対する市民満足度については、これは本市に限ったことではなく、市民アンケートを行うと、交通に関わる評価というのは最下位となることが多く、他の項目と比較しても圧倒的に低い数値が出るというのが共通でございまして。

これは交通政策には手間とお金をかけるべきだという市民の声だと理解しておりますが、現実問題なかなかできないというのもありますので、この辺りが少しずつ改善できると非常にいいのではないかと

と思います。

その他については比較的高い水準を維持しておりますが、【③—1】市内の高等学校等への停留所整備率については、目標をこのような形で掲げることについて異論はございませんが、実質的にどうなのかというところについてもぜひ細かく見ていただきたいと思います。

具体的には、300メートル以内だと該当する停留所が多いという感じがいたしますが、より近いところに設置しているか等、精査するとともに、利用したい時間帯にバスが来ているのか等、詳細を見ながら数値を追っていくのも必要ではないかと感じたところでございます。

またこの項目以外のところについては、比較的厳しく評価をしていると感じました。

その他ご意見がないようでしたら、資料のまま承認ということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

それでは資料のとおり承認といたします。

続きまして議題（4）『龍ヶ崎市乗合タクシー「龍タク」の運行計画について』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明（別紙5 龍ヶ崎市地域公共交通計画 別紙（案））

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただきたいと思います。

ご意見がないようでしたら、資料のまま承認ということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

それでは資料のとおり承認といたします。

続きまして議題（5）『龍ヶ崎市高齢者運転免許自主返納支援事業の拡充について』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明（別紙6 龍ヶ崎市高齢者運転免許自主返納支援事業の拡充について）（参考資料3 龍ヶ崎市高齢者運転免許自主返納支援事業実施要綱）

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただきたいと思えます。

【上野委員】

現在と比較すると拡充という形になるとの説明ですが、市の負担としても増えるという認識でよろしいのでしょうか。

【事務局】

基本的にはご質問いただいた通りのご認識になります。

乗合タクシーの回数券につきましては、セットメニューという形で皆さんに進呈をしていきたいと考えておりますが、乗合タクシーにつきましては、実際の予約が入った段階では市の補償額が増えていくような形になりますけれども、国の補助金や運行事業者様から一部運行にかかる費用のご負担等をいただいている事業になりますので、乗合タクシーの回数券を進呈させていただいたとしても、大幅な市の負担増加に繋がらないのではないかと考えております。

これまで高齢者運転免許自主返納支援事業を運用する中で、概ね8割程度の方はコミュニティバス無料乗車券を選ばれているといったような状況がございます。

また乗合タクシーに関しましては、市公式ホームページや市広報紙等で定期的に掲載しておりますが、なかなか皆様にご認識いただけないというところもございますので、その1つのきっかけというところも含めて、今回このような形でやらせていただきたいと考えております。

【上野委員】

高齢者の運転免許自主返納を促進していくのは、非常に大切であると思えます。促進していくことが、全体として交通事故の減少及び公共交通の利用促進に繋がると思えます。

【板谷会長】

まずは高齢者が運転免許を自主返納するとこのような支援があるということを知っていただいて、その後は引き続き他の方と同じように公共交通を使っていただくということを促したいということでございますので、拡充することについて意見はございません。

その他ご意見がないようでしたら、資料のまま承認ということにしたいと思えますが、よろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

それでは資料のとおり承認といたします。

続きまして議題（6）『地域公共交通の再編について（令和7年4

月)』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明（別紙7 地域公共交通の再編について（令和7年4月））（別紙8 龍ヶ崎市コミュニティバス路線図）（別紙9 若柴線 運行ダイヤ）

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただきたいと思えます。

確認させていただきますと、ルート名称及び停留所名称の変更、それから停留所の新設に関わる説明をいただいたということでございます。

循環ルートについては、全体でのダイヤ変更ではなくて、実態に合わせて途中の停留所間でのダイヤが変更になるということです。こちら問題ないかと思っております。

若柴線については、新規停留所を入れることで、そのことを考慮して時刻表を作っていたということでございます。

特にご意見ないようでしたら、資料のまま承認ということにしたいと思えますが、よろしいでしょうか。

～異議なしの声～

【板谷会長】

それでは資料のとおり承認といたします。

続きまして報告事項（1）『運賃協議部会について』でございます。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明（別紙10 運賃協議部会について）（参考資料4 意見募集内容）

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただきたいと思えます。

運賃協議に関しては、別途部会を設置して関係者のみで協議して決定するということになります。運賃協議部会は国土交通省関東運輸局茨城運輸支局、当該運行事業者、公募市民、市職員で構成されることになっており、事業者別で実施するため、事業者の数だけ開催するというでございます。

また、状況に応じては、書面での開催もあり得るということでございましたが、問題はないかと思えます。

その他ご意見、ご質問等なきようでしたら、続きまして報告事項（2）『運転士不足の現状把握に向けたアンケート調査について』事

務局から説明をお願いします。

【事務局】

○資料に基づき説明（別紙1 1 運転士不足の現状把握に向けたアンケート調査 結果報告）

【板谷会長】

ただいまの説明につきまして、質問・意見等あれば、発言いただきたいと思います。

【池田委員】

運転士不足の問題につきましては、他市町村ではなかなかご理解いただけない部分がございます、事務局で今回このようなアンケート調査を実施していただき本当にありがたいと感じております。また運転士に関しては、高齢化が大きな問題となっているところでございます。

【板谷会長】

データで可視化していかないと理解ができないこともございます。今回の調査では、平均年齢が60歳を超えている、また充足率に幅がありますが、そういった数字を明らかにしていただくということは大変意味があると思います。一方で、地方自治体レベルで本当になんとかなるのかとかいうと難しいので、今後の5、6年で国の政策を大転換されていく必要があると思います。

【小菅（達）委員】

関東運輸局としましては、昨年度から人材育成・確保に関して重点をおいておまして、具体的には、運輸局の者が各高等学校に訪問させていただいて、昨年度から2種免許が19歳から取れるような形になっているところもございますので、そういったことからの広報啓発等を行っているところでございます。

このようなことを行う背景としましては、現在の運転士不足が懸念されているところがあり、現状模索しながら進んでいるというところでございます。

また、退官される自衛官の方々についても、大型免許や2種免許を取得されてる方々も多いので、再就職をしていただくような働きかけをする等、小さいながらも取組を行っているところでございます。

龍ヶ崎市様のこういった取り組みに関しまして、何らかの形でまた引き続きご協力いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【板谷会長】

その他ご意見等ないようでしたら、本日の協議事項・報告事項は終

了になりますので、以上で議事を終了させていただきます。
続きまして、『その他』について、事務局から説明よろしくお願
いします。

4. その他

【事務局】

○事務局からの連絡事項

- ・ 次回の協議会開催時期について
10月頃に開催予定。詳細については改めて通知
- ・ 委員について
委員報酬を受け取る方については、別紙1・2・3を提出
委員報酬を辞退する方については、別紙4を提出
- ・ 委員報酬の支払い時期について
7月12日（金）または19日（金）を予定

【板谷会長】

その他、委員の方から何かありましたら、ご発言お願いします。
特になければ、本日の会議を閉会します。

5. 閉会

令和 年 月 日 議事録署名人

令和 年 月 日 議事録署名人